

PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時: 2020年6月13日(土) 10:30-14:30

会場:オンライン(Zoom)

参加校:愛知県立岡崎高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、静岡県立静岡高等学校、三重県立

四日市高等学校

参加者:48名(生徒・教員)、その他生徒見学者

ジャッジ: PDA 認定教育ジャッジ、神奈川県立相模原高等学校、熊本県立第二高等学校、

長野県蓼科高等学校

助成:公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

体験会に参加した各校の生徒が一堂に会し、オンラインという形ではありますが、今年も PDA 東海公立高校即興型英語ディベート交流大会を開催することができました。初めに、 岐阜高等学校の折戸校長先生より、「これからの新しい日常を作るのはみなさんです。持て る力を発揮して互いに切磋琢磨してください。また、高校生同士のネットワークづくりに励んでください。」とメッセージが送られました。

次に、PDA 代表理事の中川より、参加校の紹介やルールの復習、POI の練習などが行われました。





岐阜高校 折戸校長先生

POI の練習

そしていよいよ、第1ラウンドの開始です。1ラウンド目の論題は「Fast food should be banned. (ファーストフードは禁止すべきだ。)」でした。準備時間になるとチームメイトと 役割を決め、アイデアを共有し、作戦を練っていきました。ディベートでは、肥満などの健康被害や選択の自由などについて議論しました。POI が活発に交わされるテーブルも見られました。



準備時間 (静岡高校)



画面の向こうにいる聴衆へスピーチをします



1ラウンド目 四日市 vs 岐阜



1ラウンド目 四日市 vs 静岡



1ラウンド目 岡崎 vs 四日市



1ラウンド目 岐阜 vs 静岡

ラウンドが終わるとジャッジの先生のフィードバックを真剣に聞く様子が見られました。 1 ラウンド目終了後、四日市高等学校の松岡校長先生よりご挨拶をいただきました。「ディベートが終わったあとに握手するのが良い。自分の役割を果たそうとする姿から意気込みを感じました。言いたいことが言えなかったもどかしさを感じている人もいるかもしれませんが、それをバネにして次も頑張ってください。」とエールを送りました。





ジャッジの先生よりフィードバック

四日市高校 松岡校長先生

1ラウンド目が終わると、すぐさま 2 ラウンド目が始まりました。2 ラウンド目の論題は「School summer holidays should be shortened. (学校の夏休みは短縮されるべきである。)」でした。夏休みがあると塾に行くことができない生徒や家で集中することが難しい生徒の観点や勉強の苦手なところや運動などを自分のペースでやりたい生徒の観点などから夏休みは長いほうがいいのか短いほうがいいのかについて議論しました。ディベートが終わると、お互いに意見交換をしたり、交流したりする様子がみられました。





2ラウンド目 静岡 vs 四日市

2 ラウンド目 お互いに健闘をたたえ合います





2 ラウンド目 四日市 vs 岐阜

2 ラウンド目 ラウンド後に握手をします

2 ラウンド目終了後は昼食時間です。オンラインという形ではありましたが、方言や分散登校の状況についてなど情報共有や意見交換を行いました。

昼食の後は、各高校から選抜された生徒 6 名によるエキシビジョンディベートです。論題は、「School events (sports festivals, cultural festivals, school excursions, etc.) should be canceled to prevent COVID-19 infection. (新型コロナウイルス感染症対策のため、各種学校行事(運動会、文化祭、修学旅行等)は中止すべきである。)」でした。生徒がいい思い出を残すためには中止したほうがよいのか、実施したほうがよいのか、自分たちの身の回りの例を挙げながら白熱した議論を展開しました。









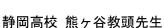


エキシビションの様子

表彰が終わり、静岡高等学校志村校長先生からのメッセージを熊ヶ谷教頭先生からいただきました。「1 日お疲れ様でした。以前参加した生徒が成長を感じて嬉しいと話していましたが、みなさんもきっと成長を感じたことと思います。私はこの交流大会で楽しみにしていることが2つあります。まず1つ目はみなさんのディベート活動の様子を見ることです。チームワークや英語で言いたいことが言えないもどかしさや緊張感など、即興型英語ディベートでしか味わえないものがあると思います。2つ目が論題です。いろいろな社会課題を扱っており、様々な観点から物事を考える必要があります。これからも頑張ってください。」と労いのお言葉をいただきました。

最後に、ベストディベーターに選ばれた生徒が「他の参加した生徒から学ぶものがとても多く、勉強になった1日だった。」と感想を述べ、3回目となるPDA東海公立高校即興型英語ディベート交流大会が終了しました。







生徒の感想

【表彰】

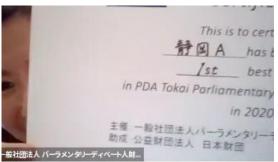
〈エキシビションディベータ賞〉

•	PM	さん	(岡崎高校)
•	LO	さん	(岐阜高校)
•	MG	さん	(静岡高校)
•	MO	さん	(四日市高校)
•	LOR	さん	(静岡高校)
•	PMR	さん	(四日市高校)

〈チーム賞〉

- 1位 静岡高校 A
- 2位 岡崎高校 A
- 3位 静岡高校 B
- 4位 岐阜高校 A
- 5位 岐阜高校 B
- 6位 四日市高校 A





1位 静岡 A へ賞状が授与されています







2位 岡崎A

5位 岐阜B

6位 四日市 A

〈ベストディベーター賞〉

- (岡崎 A)
- (静岡 A)
- (静岡 A)
- (岐阜 B)
- (岐阜A)
- (四日市 C)
- (四日市 C)
- (四日市 B)
- (四日市 A)

〈ベスト POI 賞〉

- (岐阜A)
- (四日市 B)
- (静岡 B)
- (静岡 A)
- (静岡 A)
- (岐阜 B)

生徒の声(アンケートより抜粋)

- 少しずつですが自分の成長も感じられたので嬉しかったです。まだまだもっと上手くなりたいです。【四日市】
- ・正確なジャッジで納得できるところが大きく、たくさん勉強になりました!今後の論理 的思考に役立てたいと思います!【静岡】
- 自分の意見を的確に伝えるには、相手の事を最優先に考えて話さなければいけないと思いました。【四日市】
- もっと英語の学習に励もうと思うきっかけになりました。ありがとうございました。【四日市】
- 難しい内容ですが一生懸命やれて嬉しいです。去年よりもうまくなっている感じがして よかったです。【四日市】
- ・昨年に引き続き参加させていただきました。オンラインだったのは仕方がないとはいえ 残念でしたが、オンラインならではの難しさ、楽しさを感じることができました。エキ シビションディベートにも参加させていただき、更にレベルの高い仲間、相手とディベ ートをすることができたのがとても嬉しかったです。自身の力不足も実感しましたが、 それをプラスに変えてさらなるレベルアップを目指したいと思います。他校の方のディ ベートを聞くのも大きな楽しみでした。英語の流暢さだけでなく、論理の組み立て方や 反論の仕方など、全ての試合がとても勉強になりました。参加できて本当に良かったで す。ありがとうございました!【静岡】
- 先輩方とチームを組んだことで、チーム内で意見の矛盾を作らないことや代替案や反論の共有の重要性を再確認することができました。他の学校の先輩のスピーチの抑揚や強調の付け方も勉強になり、もっと上手にディベートをしたいという気持ちにさせられました【静岡】
- ・他の人のディベートを聞いて、自分にはなかった切り口や見方を得ることができました。また、エキシビションディベートや講評を聞いて、いろいろなことを学べました。 今後に活かしていきたいです。【岐阜】
- ・体験大会に比べてとてもレベルが高くて、皆さん凄くて、自分の未熟さを痛感しました。日本語で理由を立てるのも大変だし、それが英語で上手く伝わらないこともあって、もっと工夫が必要だと思いました。エキシビションは、スピードが早くて、ついていけませんでした。リスニング力というより語彙力が足らないので身につけたいと思いました。英語ディベートはとても楽しいし勉強になりました。あまりうまくできないのですが、またやってみたいです。【四日市】
- 自分のスピーチがチームの主張の補強に貢献できたと感じることができたと思ったからです。poi も相手の一貫性をつくきっかけになったことで、次のスピーカーに繋げられて嬉しかったです。【静岡】

- 様々な高校の方と交流することが出来たし、自分の知見が広がった。【岐阜】
- ・違う高校の人たちと、一つの議題について、理解を深めることができたこと自体がとて もおもしろかったです!【岐阜】
- zoom での参加はとても新鮮で楽しかったです。【岡崎】
- ・ジャッジの方のコメントがとても分かりやすかったです。どんなところを見ているのか、他の練習会や大会ではあまりわからなかったけれど、今日すごくハッキリしました。去年はじめて出たのですが、その時より喋れるようになり自信につながりました。 【岡崎】
- ジャッジの先生方の的確なアドバイスと温かい勇気づけのおかげで、生徒たちがどんどん成長していきました。【教員】